



目指す 児童像

し自然に親しむやさしい子
じ自分で学び考える子
き気力・体力を高める子
小将来の夢をめざす子

令和7年10月17日
平戸市立志々伎小学校
校長 山田 泰生
No.92

日本脳炎に注意しましょう

長崎県県北保健所地域保健課健康対策班より情報提供がありました。平戸市で日本脳炎の患者が発生したそうです。

■ここから引用■

今年初となる日本脳炎の患者が平戸市で発生しました。本県では令和3年10月以来の患者発生となります。暑さのピークは過ぎましたが、ウイルスを媒介する蚊の活動時期は本県では秋ごろまで続きますので、蚊に刺されない対策をとることが重要です。日本脳炎は日本脳炎ウイルスによって起こるウイルス感染症です。人はこのウイルスをもっている蚊（主にコガタアカイエカ）に刺されることによって感染します。潜伏期間は6日から16日で、ほとんどの場合は無症状で終わりますが、発症すると数日間の高熱・頭痛・嘔吐・めまいがみられ、重症化すると意識障害・けいれん・昏睡などの症状とともに、死亡に至ることもあります。治癒した場合でも、麻痺等の重篤な後遺症が残ることもあります。～（中略 山田）～また、蚊に刺されないように、網戸を閉め、蚊が家の中に入らないようにしましょう。蚊取線香や各種の虫よけ、殺虫剤等の使用も有効です。また、外出す

る際は長袖などを着用、コガタアカイエカに刺されないような工夫が大切です。■引用終わり■

なお、日本脳炎は、人から人への感染はなく、また感染者を刺した蚊に刺されても感染することはありません。

紹介されていた予防法をお知らせします。

① 日本脳炎ワクチンの接種

ワクチンにより日本脳炎の罹患リスクを75～95%減らすことができますと報告されています。

② 蚊に刺されない工夫

日本脳炎は蚊（主にコガタアカイエカ）によって媒介されるので、蚊に刺されない対策や、蚊を増やさない環境づくりが重要です。

- ・夕方～夜明けには屋外で過ごすことを避ける。
- ・戸外で過ごすときはできるだけ皮膚の露出を避ける（長袖、長ズボン等の着用）。
- ・虫除けスプレー等を活用する。
- ・網戸を閉め、蚊が家の中に入らないようにする。

③ 十分な休息 休養、栄養、睡眠を十分にとり、過労を避けて、免疫力を維持して発症を予防する。